



笛南中だより

令和5年11月22日
甲府市立笛南中学校
文責 校長 七澤 聡

JRC公開研究会 開催

令和4, 5年と2年間をかけて『青少年赤十字活動研究指定校』として、中道南小学校、中道北小学校、そして、本校の3校で研究を進めてきた取り組みの研究発表会を先週の17日金曜日に実施しました。研究テーマは、「生きる力を育むために学び続ける児童生徒の育成～SDGsを身近に感じながら～」で、各校が日々の活動の中でSDGsを意識しながら取り組んできました。青少年赤十字活動の態度目標である「気づき・考え・実行する」を常に意識させながらの取組は、特に新しい取組ではなく、今まで行ってきたものがそのまま生かされるものであり、青少年赤十字活動が児童生徒の行う活動の根底に位置しているものであることを改めて実感することができた2年間の研究でした。授業公開では、それぞれの学年が取り組んできたテーマをもとに討議し、『すみやすいまち「なかみち」今私たちにできること』にそれぞれの学年ごとのテーマから迫る意見集約を行いました。テーマは異なっても、どの学年からも「なかみち」を愛する気持ちが伝わってくる意見が出され、心がほっとするひとときでした。今回の研究を通し、学校生活が充実したとともに、地域愛が膨らむ有意義な取組であったと感じます。改めて、笛南中生徒は、よい集団であると感じます。



県新人戦でも活躍！

市新人体育大会でも活躍した4つの運動部（バレーボール、サッカー、バドミントン、ソフトテニス）が県新人戦でも活躍、健闘しました。県大会の良さは、多くのチームが参加すること。甲府市だけでは感じられないパワー・意気込み等を感じることができる大会です。その中での試合は、多くの課題を提供してくれます。

今までの暑さが嘘のような寒い冬がやってきました。この冬をどう乗り切るかが、来年度の県総体に繋がります。基礎練習や体力作り等単調な練習が中心となるのではないのでしょうか。気を引き締めて、しっかり目標を設定して乗り切りましょう。皆さんの頑張りを期待しています。



